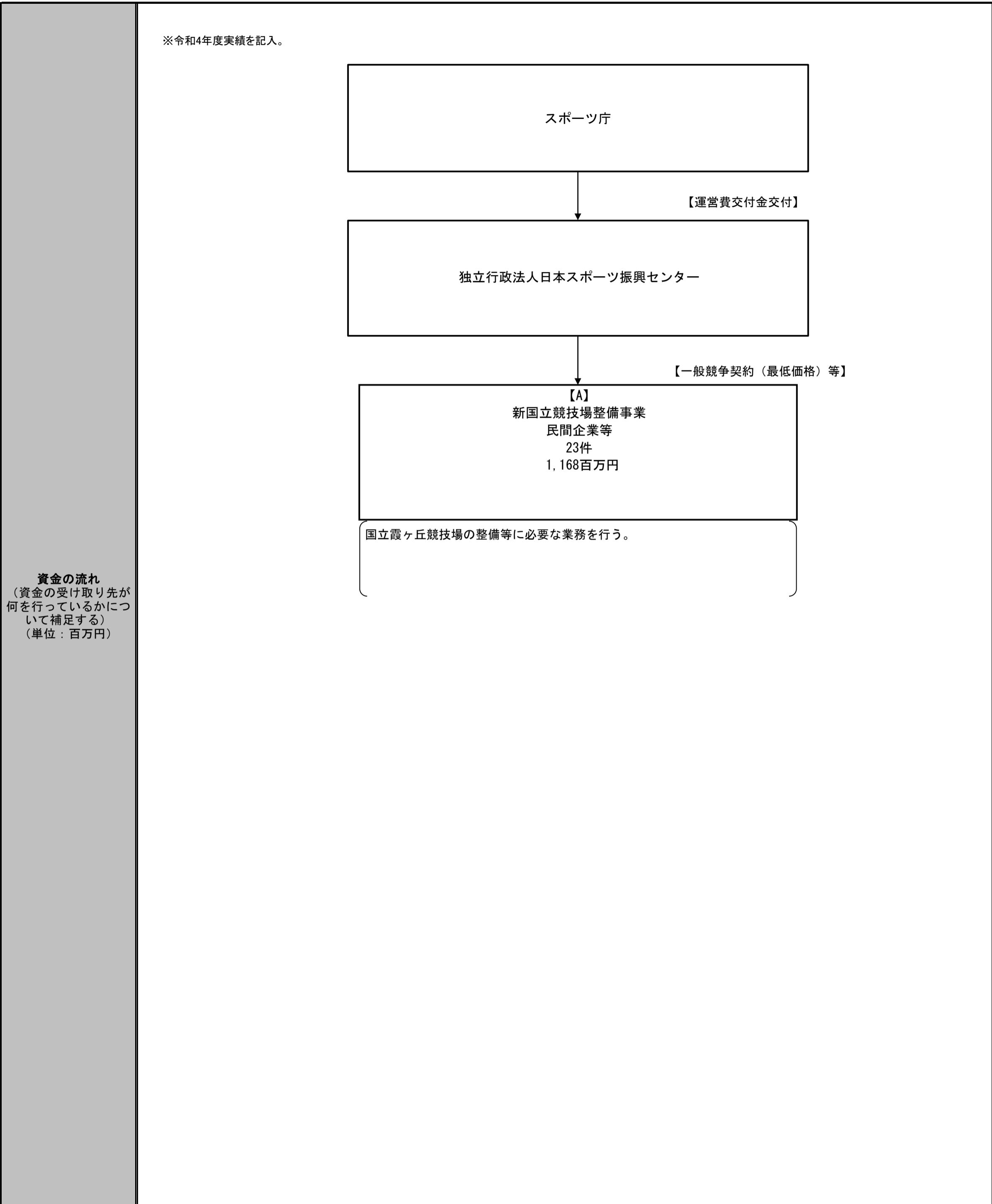


		令和5年度セグメントシート			(日本スポーツ振興センター)	
セグメント名	新国立競技場整備事業			担当部局庁	スポーツ庁	作成責任者
事業開始年度	平成24年度	事業終了(予定)年度	令和4年度	担当課室	政策課	政策課長 先崎 卓歩
会計区分	一般会計					
セグメント単位の考え方	財務諸表の通り					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人通則法第46条 独立行政法人日本スポーツ振興センター法第15条及び附則第8条の3			関係する 計画、通知等	新国立競技場の整備計画(平成27年8月28日新国立競技場整備計画再検討のための関係閣僚会議決定) 新国立競技場の整備に係る財政負担について(平成27年12月22日新国立競技場整備計画再検討のための関係閣僚会議決定) 第3期スポーツ基本計画(令和4年3月25日策定)	
					主要経費	文教施設費
事業の目的 (5行程度以内)	1964年オリンピック東京大会の主会場となった国立霞ヶ丘競技場陸上競技場(以下「国立競技場」)は、築後、半世紀が経過し、施設そのものの老朽化が進むとともに、今日におけるオリンピック等の大規模国際競技大会の主会場としての仕様を満たさない状況となっていることから、2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の日本開催並びにその後の大規模国際競技大会招致等を見据え、主会場に相応しい規模と機能を備えたスタジアムへ改築する。					
現状・課題 (5行程度以内)	新国立競技場の整備について、本事業の良否が2020年東京大会の成否にも関わる重要な国家的プロジェクトであることを十分に認識した上で、「新国立競技場の整備計画」に基づき着実に推進し、整備計画に定められた要求水準を遵守するとともに、工期の5か月短縮と工事費の21億円縮減を達成し、令和元年11月末に完成した。令和3年に東京大会の開閉会式及び陸上競技の会場として無事に利用された。その後、二段階整備として大会後の整備を令和4年までに完了した。					
事業概要 (5行程度以内)	「新国立競技場整備計画再検討のための関係閣僚会議」が平成27年8月28日に策定した「新国立競技場の整備計画」に基づき、同年12月22日、整備事業者(優先交渉権者)として「新国立競技場整備事業大成建設・梓設計・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体」を選定。平成28年1月から設計・施工を一貫して行う整備事業を開始し、令和元年11月末に完成。					
事業概要URL						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算額 経常収益 執行額 経常費用	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		当初予算:運営費交付金(A)	-	-	-	-
		補正予算:運営費交付金(B)	-	-	-	-
			-	-	-	-
			-	-	-	-
		運営費交付金(C)	-	-	-	-
		補助金等(D)	-	-	-	-
		その他(E)	10,966	12,184	11,942	-
		計(F) =(C)+(D)+(E)	10,966	12,184	11,942	-
		運営費交付金収益の割合 =(C)/(F)	-	-	-	-
運営費交付金収益化基準	業務達成基準	業務達成基準	業務達成基準	業務達成基準		
予算額(G)	1,582	746	2,484	1,436		
執行額(H)	1,568	1,371	2,446	-		
執行率(I) =(G)/(H)	99%	184%	98%	-		
歳出予算項目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(-要望額・予備費)		
(項)	(目)			※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。		
	その他					
計(A)	-	-				

活動内容① (アクティビティ)	日本スポーツ振興センターが、国立競技場を整備し、2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の日本開催並びにその後の大規模国際競技大会招致等を見据え、主会場に相応しい規模と機能を備えたスタジアムに改築する。								
↓									
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標	/	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	国立競技場を整備する。	国立競技場整備	活動実績 当初見込み	- -	- -	- -	- -	- -	- -
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	2020年までに国際競技大会に相応しい規模と機能を備えた新しい国立競技場を整備することで、2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の主会場として利用されることが本事業の目標であることから、東京大会での国立競技場の利用をアウトカムとして設定する。							
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	/	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 4 年度	
	東京大会の会場として利用される。	東京大会での国立競技場の利 用	成果実績 目標値 達成度	回 回 %	2 - -	2 2 100	- - -	- - -	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会公式報告書								
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由 - アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由 令和4年度終了事業のため								

アクティビティから長期アウトカムについて6つ以上記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載		チェック
独法所管部局による点検・改善		
点検結果	当初の目標どおり、東京大会までに改築を行い、東京大会の会場として使用された。	目標年度における効果測定に関する評価(令和5年度)
改善の 方向性	今後も大規模な国際大会等に使用されるスポーツ施設として活用していく。	本事業で整備された国立競技場は、2021年7月から9月にかけて開催された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の主会場として利用され、本事業の目的は達成されている。
備考		
-		



費目・使途 <small>(「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載)</small>	A.株式会社丹青社			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	記念作品等移設費	11壁画 修復・移設業務委託	1,088			
計			1,088	計		

支出先上位10者リスト

A.新国立競技場整備事業

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契 約 方 式 等	入 札 者 数 (応募者数)	落 札 率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となつ た理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社丹青社	3010501007440	11壁画 修復・移設業務委託 【一般競争契約・最低価格】(令和元年度～令和4年度)	1,088	その他	-	-	-
2	株式会社内田緑化興業	1030001000945	国立競技場地表公園整備工事 【一般競争契約・総合評価】(令和3年度～令和4年度)	75	その他	-	-	-
3	水澤工業株式会社	6011401006109	国立競技場11壁画端部侵入 防止金網取設工事	2	随意契約(少額)	-	-	-
4	弁護士法人森・濱田松本法律 事務所	6010005021423	訴訟等に係る法律相談業務	1	随意契約(その 他)	-	-	-
5	株式会社オントリーワン	4030001108174	JISS園地内の記念碑の搬出・ 運搬・仮置作業	0.8	随意契約(少額)	-	-	-
6	株式会社オントリーワン	4030001108174	国立代々木競技場第二体育 館裏の外灯の運搬作業	0.5	随意契約(少額)	-	-	-
7	株式会社みずほ銀行	6010001008845	振込手数料	0	その他	-	-	-
8	株式会社みずほ銀行	6010001008845	残高証明書発行手数料	0	その他	-	-	-
9	株式会社神奈川銀行	7020001011062	監査法人宛残高証明書	0	その他	-	-	-
10	株式会社京葉銀行	5040001000008	監査法人宛残高証明書	0	その他	-	-	-
11	株式会社静岡銀行	5080001002669	監査法人宛残高証明書	0	その他	-	-	-
12	株式会社清水銀行	8080001001858	監査法人宛残高証明書	0	その他	-	-	-